

# 政治に希望は持てるか

## ―現状と行方―

時事通信社解説委員  
山田 恵資



\* 6月解散が見送られた背景

\* 解散権の威力を楽しむ？

\* 不明確な岸田政権の支持・不支持層

\* ここから先の解散時期を探る

\* 10月22日の補選結果が重要

\* 内閣改造で見える森・麻生両氏の影響力

\* 外務大臣交代人事をどう考えるか

\* 選挙結果で政界再編は起きるか

\* 岸田首相の次は誰になるか

\* 脱アベノミクスを明確にする時期

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

山田先生は、時事通信で活躍されて、政治部長を歴任されて、現在の職にあります。レギュラーの番組としては「森本毅郎スタンバイ！」というTBSラジオ番組で12年間レギュラーの仕事をされています。それから、BSの放送で政治討論の放送がいろいろありますけれども、そこにも先生は度々出演されていますから、皆さんもよくそのお話を聞いた経験があると思います。今日は、生でここで聞いていただきたいと思えます。

では、山田先生、お願いします。（拍手）

### 6月解散が見送られた背景

山田 こんにちは。ご紹介いただきました時

事通信の山田恵資でございます。ラジオ出演に關しては、山縣さんは私の大先輩でいらっしやいます。またこの場と呼んでいただきました大変うれしく存じます。私は今65歳ですけれども、時事通信解説員という肩書きは半年更新でございまして、今度の契約が1月で切れるんですけれども、つい先日、もう半年延長してもらえらるうかと、こちらも喜んでということで、肩書きは変わらずに来ております。

今、政治がどんどん動いている中で、いろんなテーマがあります。なぜ改造はあのような形になったのか、解散はいつなのか、解散した後の政治はいつなるのか、外交はどうなのか。あるいは今、景気対策を自民党がまとめようとはしていますが、その方向はいいとい